

# 「第8次下諏訪町総合計画基本構想」を全会一致で可決

## 基本構想審査特別委員会



基本構想に沿い開始される各種計画

昨年12月定例会で付託された「第8次下諏訪町総合計画基本構想」の審議のため、議長を除く12人の議員で構成する下諏訪町基本構想審査特別委員会(金井敬子委員長、豊島健之副委員長)を計5回開催。関連資料の説明を受けた後に、委員から計24項目の質疑・意見を町に提出。それに基づく質疑・議論を繰り返した結果、「前期基本計画」内で3箇所の文言を追加しました。

最終日には下記の討論が行われ、採決の結果、全会一致で可決しました。

- ・あらゆる分野の計画の基本であり、住民や事業者、行政が行動するための基本的な「道しるべ」となる。基礎となるのは人口動態であり、人口の流入を招き流失を食い止めていくのが、今後の大きな課題。

- ・基本構想に示される「自然環境・生活基盤」「教育環境・文化振興」「健康づくり・福祉の推進」「産業振興・人材活躍」「安全・相互理解・連携」の5つの大綱が簡潔に、大変わかりやすくまとめられている。

- ・少子高齢化に即した計画であると同時に、町の独自性が示された内容と判断。ブレることなく、計画推進にあたってほしい。

※総合計画や委員会設置については、前号12～13Pに掲載



## 意見書案の審査結果

### ＜防衛装備移転三原則の堅持と慎重な運用を求める意見書＞

賛成多数で可決

政府は防衛装備移転三原則の運用指針見直しに関する与党提言を踏まえ、運用指針を改定する方針です。輸出できる国産装備品の「救難、輸送、警戒、監視、掃海」の5類型限定を撤廃しようというもので、国の安全保障政策の大転換につながりかねません。

この意見書は、政府に対し、憲法の平和主義を根底に据え、防衛装備移転三原則の堅持ならびに運用にあたっての厳格な審査、透明性の確保、国会・国民への丁寧な説明を求める内容です。野沢弘子議員から提案されました。

**反対** 既に、運用指針は改正済み。武器に関しては国連憲章に基づく歯止めがあるし、同盟国や同志国への武器輸出は我が国の安全保障環境にとって必要。

**賛成** 戦地でいつも最初に犠牲になるのは子ども達。憲法九条は、戦争を放棄するとうたっており、これに則り武器輸出は制限すべき。

## 3月定例会 議案等賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案名等	議員名 (議席順)	中山透	林吉広	野沢弘子	竹元完奈	高橋幸二	林元夫	樽川信仁	大橋和子	花岡進	金井敬子	青木利子	豊島健之	松井節夫
国民健康保険税条例の一部改正	議決等結果	可決	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×
令和8年度国民健康保険特別会計予算	議決等結果	可決	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×
防衛装備移転三原則の堅持と慎重な運用を求める意見書	議決等結果	可決	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○
令和8年度下諏訪町一般会計予算に対する附帯決議	議決等結果	可決	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○

賛成者は「○」、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としてあります。なお、下諏訪町議会は会派制をとっていないため、氏は議席順に掲載しています。